

10 学科という 幅広い学びの領域

10の専門分野が、一人ひとりの興味にしっかり応えます。
また、学科間の連携や融合も図っているので、
自分の専門領域に違う分野の視点も取り入れ、
現代社会のニーズに対応しうる
幅広い知識と高度な能力を身につけることができます。



デザイン学科

生活文化と深く関わりながら、技術と科学に裏打ちされた芸術性・人間性豊かなデザインのあり方を学習。卒業後は約半数が大学院に進学し、より高度な勉強に励んでいます。



機械工学科

日常製品から宇宙空間の製品まで、機械工学はすべての工業製品の源。広い領域を網羅する学問のため、まずは数学や物理学など基礎を修得したうえで専門領域を学びます。



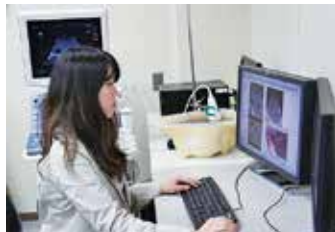
建築学科

人間に不可欠な衣・食・住のうち「住」を創造する建築を、理論と実践の両面から学習。より高度な学びを提供するため、大学院を含めた6年一貫プログラムも整えています。



都市環境システム学科

「場」=空間としての都市の特質と、「流れ」=都市の成立に欠かせない動的要素を大切に、都市環境を総合的に研究する全国でも数少ないユニークなカリキュラムを用意しています。



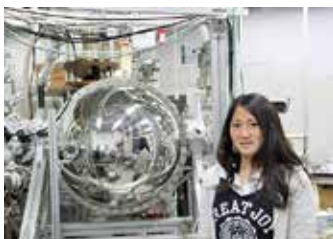
メディカルシステム工学科

工学的知識から医学的知識まで幅広く学び、技術者や研究者として超高齢化社会の新しい医療に貢献できる人材を育成。1学年40名程度の少人数で、密度の濃い学びを提供しています。



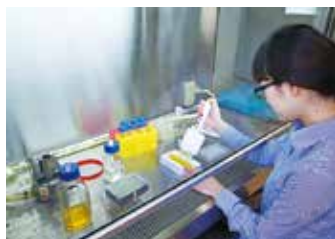
電気電子工学科

話題のクリーンエネルギー自動車も電気電子工学の技術です。その基礎をエネルギー・情報・電子材料など幅広い分野を学んで身につけ、新しい技術を創造できる能力を養います。



ナノサイエンス学科

家電をはじめ身近に存在するナノ技術。少人数教育による教員との密なコミュニケーションと世界レベルの研究を通し、10億分の1メートルの世界に羽ばたく挑戦者を育てます。



共生応用化学科

環境を保全しつつ地球資源を有効活用し、人類の真の福祉に貢献する。そんな21世紀の化学のあり方を学び、他の生物との共生をめざす「新しい応用化学」を実践していきます。



画像科学科

ものづくり・画像づくりのユニークな実験を通して基礎学力を身につけてから、専門領域に入ります。画像マテリアルとそれを利用する人間の感性を取り扱う学科は稀少です。



情報画像学科

「情報」と「画像」を核とした幅広い領域です。「情報と数理」「情報と物理」「情報と人間」という3つの柱があり、情報が人間に伝わる仕組みや情報を効果的に伝える方法を学びます。

キラキラ全開!! 工学女子!

千葉大学工学部、現役女子の本音トーク。

Chiba University Faculty of Engineering



AD ALTIORA SEMPER-つねに、より高きものをめざして-
千葉大学 工学部

2015年
8/3月

Open Campus

実際に訪れ、見て、聞いて、相談しよう!

詳しくはこちらをチェック! >>>



要事前申込

お申し込みは

千葉大学ホームページ
<http://www.chiba-u.jp/>

携帯電話・スマートフォン
<https://secure.nykoho-chiba-u.jp/open/>

●実施時間(受付開始時間)

学科別説明会

第1回 9:00~10:40

第2回 10:00~11:40

第3回 13:30~15:10

第4回 14:30~16:10

第5回 15:30~17:10

OB・OG講演会

第1回 11:50~12:30

第2回 12:40~13:20

工学部管理棟にて随時上映

●プログラム

具体的にどんなことを学ぶの?

希望学科の説明、研究室等見学

リアルな工学部生の生活を見たい!

在学による学生生活の紹介

学習面や生活面を相談したい!

相談コーナー

先輩のアドバイスを聞きたい!

若手OB・OGによる講演

学科の比較を詳しくチェックしたい!

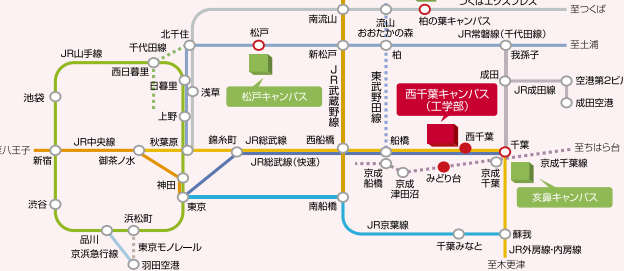
工学部紹介DVD上映(見学自由)

●集合場所

工学部1号棟(西千葉キャンパス)

8:15~随時受付

●アクセス



AD ALTIORA SEMPER-つねに、より高きものをめざして-

千葉大学 工学部

<http://www.eng.chiba-u.ac.jp/>
[お問い合わせ] 043-290-3054



千葉大学工学部には、 がんばる“輝き女子”がいっぱい!!

広々として緑がいっぱいのキャンパスは、JR西千葉駅の目の前。

自分のやりたいことを見つけてがんばる、“輝き女子”に優しい環境です。

「千葉大に入ってよかった!」という彼女たちに、工学女子の熱い思いを語ってもらいました。



大学院工学研究科
建築・都市科学専攻 建築学コース 修了
●研究テーマ
医療施設外来待合空間における効率性と快適性に関する研究



大学院工学研究科
共生応用化学専攻 共生応用化学コース 修了
●研究テーマ
Ni-Sn触媒を用いた不飽和カルボニル化合物の選択的水素化反応



工学部 メディカルシステム工学科 4年
●研究テーマ
研究室配属がまだのため研究テーマ未定



大学院工学研究科
デザイン科学専攻 デザイン科学コース 修士2年
●研究テーマ
素材による音の違いを活かした玩具の提案



大学院工学研究科
人工システム科学専攻 電気電子系コース 修士2年
●研究テーマ
ホログラフィ専用計算機の精度検証用エミュレータの開発



工学部 情報画像学科 卒業
●研究テーマ
DLPプロジェクタにおける色割れ知覚メカニズムの解明



工学部 機械工学科 卒業
●研究テーマ
振動型ヒートパイプを用いた高効率エネルギー輸送技術の開発

Special Talk Session

どうして工学部をめざしたの?

稲垣: 小さい頃から工作などモノを作ることが好きだったからです。それと休日によく父が飛行機を見に連れて行ってくれて、モノづくりの中でも機械系に興味があったからです。
川口: 私は文系より理系科目が得意だったことが一番の理由ですが、理系は就職に専門を生かして有利であることも魅力でした。なかでも電気電子工学科は、興味のあるプログラミングが学べ、将来の進路の選択肢も幅広いと思ったからです。

女子が少ないことに不安はなかった?

多田: 高校時代、文理選択で理系クラスになったときから、男子が多い環境には慣れていたもので、特に不安はありませんでした。それに、女子が少ないゆえに女子同士ととても仲良くなれます。興味がある分野について深いところまで話せる女子がいることは楽しいですね。
鎌田: 私は性格が男っぽいので、男子が多い環境は非常にやりやすかったです (笑)

まわりの工学女子ってどうですか?

小倉: サバサバしている女子が多いですね。いつも一緒にいなきゃというものないし、付き合っていてとてもラウクです。
今井: 女子の友達とは課題などを一緒にやることが多く、特に研究室に所属してからは一緒に徹夜したり、目標に向かって真剣に取り組む姿にお互い刺激を受けて頑張ってきました。苦勞も喜びも共にした戦友のような感覚です。

では、工学男子の好きなところを教えてください!

笠原: みんなとても優しいですよ。落ち着いている人が多くて、友達として付き合いやすいです。
鎌田: 勉強でわからないことがあって質問すると、しっかりと説明してくれるところも、理系気質なのかなと思います。
今井: いい意味でオタク気質というか、自分の趣味についてこだわりを持って熱く語れる人が多いですね。そんな友達の影響を受けて、私も野球やサッカーなどスポーツ観戦を楽しむようになり、趣味が広がりました。
稲垣: 趣味といえば、私はフォーミュラカーを作るサークルに所属していますが、サークルの男子はみんな私より知識が豊富で、専門科目に関する話が聞けるのが楽しいし、すごく勉強になることが多いです。

工学女子になってよかったと思うことは?

多田: 女子が少ないせいか、先生が丁寧に指導してくださ

る気がします。気のせいかもしれませんが (笑)

川口: 私の所属する電気学会では、女子限定の表彰があり、受賞することができたのでトクをしたかなと思います。

女子の強みをどう生かしたいですか?

稲垣: モノづくりの分野では、男性の体格やライフスタイルに合わせた製品が多いので、女性の立場に立った製品を作れたらと思います。
小倉: 私は将来、医療機器の開発に携わりたいと思っています。女性の視点を反映したいです。例えば、緊張せずに安心して検査を受けてもらえるような。そんな優しい視点は男性の患者さんにも喜んでいただけたと思います。
笠原: 私はデザインの研究をしています。作り手として必ず使う人々にリサーチをします。女性であれば女性の声を聞きやすいと思うので、しっかり耳を傾けたいと思います。

工学女子の就職について教えてください!

今井: 私は修士修了後、家具メーカーに空間デザイナーとして就職が決まっています。就職活動の際は、これまで作った作品のポートフォリオを持参してプレゼンテーションをしました。自分が学んできたことをアピールできる点で、工学女子は自信を持って就職活動ができると思います。
鎌田: 石油業界の企業に内定をいただきました。これまで男性の職場というイメージが強かった企業こそ、近年は女性の採用に積極的であることを実感しました。
川口: 私は大学卒業時に一度就職活動をして内定をいただきました。ですが、より自分のやりたいことにチャレンジできる企業に入りたくて内定を辞退し大学院に進みました。大学院での研究活動を経て、さらにチャレンジできる職種は広がりました。その点で、工学女子には就職活動のチャンスは2度あるといえるかもしれません。

今回、皆さんで集まっていたかがでしたか?

笠原: みんな自分の考えを持っていて、初対面でしたが、同じ工学女子として親近感を持ちました。
多田: それぞれ違う専門分野を持った皆さんの話が聴けて楽しかったです。

